



GIGA MANGA

江戸戯画から近代漫画へ

2021年 4月24日(土) — 7月4日(日)

前期展示 | 4月24日 - 5月30日 後期展示 | 6月1日 - 7月4日

主催 | 神戸ゆかりの美術館、神戸新聞社、毎日新聞社

後援 | サンテレビジョン、ラジオ関西

監修 | 清水勲 (漫画・諷刺画研究家、元京都国際マンガミュージアム研究顧問、元帝京平成大学教授)

協力 | 京都精華大学国際マンガ研究センター / 京都国際マンガミュージアム

休館日 | 毎週月曜日 (5月3日は開館)、5月6日 (木)

開館時間 | 午前10時 ~ 午後5時 (入館は午後4時30分まで)

入館料 | 一般1,200円 (1,000円)、大学生600 (500円)

* () 内は前売料金および20名以上の団体料金

* 学生証・生徒手帳を提示の中小高生は無料、
神戸市居住の65歳以上の方は一般料金の半額

* 前売券はローソンチケット (Lコード: 52836)、
チケットぴあ (Pコード: 685-545) など販売

* 館内では新型コロナウイルス感染症対策にご協力ください。

神戸ゆかりの美術館

KOBE ARTISTS MUSEUM

〒658-0032 神戸市東灘区向洋町中2-9-1

TEL 078-858-1520 FAX 078-858-1522

<https://www.city.kobe.lg.jp/yukarimuseum/>

左上より時計回りに 作者不詳 死者におびえる謎の親子 1855年

作者不詳 当時流行諸唄商人尽 1868年頃

河鍋曉斎 晩暮茶番 第三号 化々学校 1874年

小星・東風人 「お伽 正チャンの冒険」二の巻 朝日新聞社 1924年9月10日

岸丈夫 「漫画日本」第38巻第3号表紙 大阪新聞社 1943年3月1日

歌川国利 有が多氣御代の薩檢 年代不詳

(いずれも部分) 京都精華大学国際マンガ研究センター / 京都国際マンガミュージアム蔵

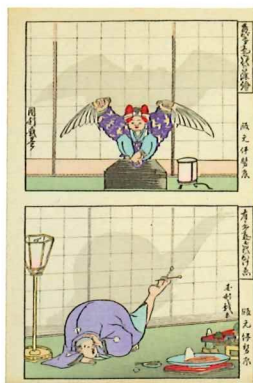




河鍋晩斎 晩斎楽画 第三号
化々学校 1874年



作者不詳 当時流好諸噺商人尽
1868年頃



歌川国利 有が多氣御代の薩絵
年代不詳



小星・東風人 『お伽正ちゃんの冒険』 二の巻 朝日新聞社
1924年9月10日

GIGA MANGA

江戸戯画から近代漫画へ

GIGA MANGA 江戸戯画から近代漫画までをたどる漫画の歴史

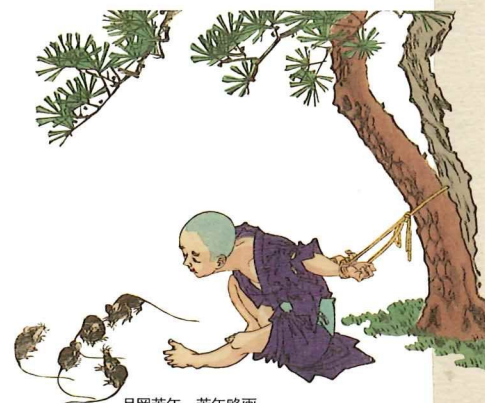
いまや世界共通言語となった日本の漫画=MANGA。その起源には、様々な説があります。本展監修者・清水勲氏は、印刷出版文化が発達した江戸時代の戯画を、現代日本で認識されている漫画的な表現の出発点としています。江戸時代には、木版技術が発展し、版本や浮世絵版画といった出版物が庶民の手に届く値段で販売され、生活文化の中に浸透していったためです。そうして絵巻の中で熟成されてきた漫画的な表現(戯画)が、大衆も楽しめる新しい絵画表現として完成しました。

本展では、江戸戯画から明治・大正期の諷刺漫画雑誌、昭和戦中期の子ども漫画等、前・後期合わせて約320点の作品・資料を通じて日本の漫画の変遷を展覧します。

※会期中、展示替をします。 作品はいずれも京都精華大学国際マンガ研究センター / 京都国際マンガミュージアム蔵



作者不詳 死者におびえる鯨の親子 1855年



月岡芳年 芳年略画
応挙之幽霊 / 雪舟活画(部分) 1882年

月岡芳年 芳年略画
応挙之幽霊 / 雪舟活画(部分) 1882年



歌川芳藤 心夢吉凶鏡 1867年4月



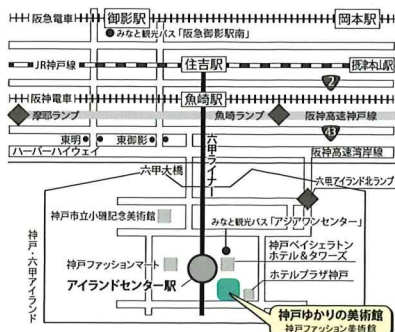
ジョルジュ・ビゴー 『TÔBAÉ』 33号
1888年6月15日



岸丈夫 『漫画日本』第38巻第3号表紙
大阪新聞社 1943年3月1日

アクセス

- JR「住吉駅」、阪神「魚崎駅」のりかえ、六甲ライナー「アイランドセンター駅」下車南東すぐ
- 阪急「御影」のりかえ。みなと観光バス「阪急御影駅南」バス停から「アジアワンセンター」下車南へ徒歩3分
- お車の方は美術館隣接の神戸ファッションプラザ駐車場(1日最大550円)をご利用ください。
- 阪神高速湾岸線「六甲アイランド北」ランプより約3分
- 阪神高速神戸線「魚崎」「摩耶」ランプより約10分



歌川広景 江戸名所道戯尽 三十四 筋違御門うち(部分) 1859年11月



歌川芳藤 心夢吉凶鏡(部分) 1867年4月

神戸ゆかりの美術館

KOBE ARTISTS MUSEUM

〒658-0032 神戸市東灘区向洋町中2-9-1
TEL078-858-1520 FAX078-858-1522
<https://www.city.kobe.lg.jp/yukarimuseum/>